

平成 29 年度  
事 業 報 告

公益財団法人日本障がい者スポーツ協会

## 《 目 次 》

I 総括 .....	1
II 平成 29 年度の具体的な施策	
アクションプラン1 スポーツ施策の一元化.....	2
アクションプラン2 障がい者スポーツ振興体制の整備.....	2
アクションプラン3 障がい者スポーツの普及・振興.....	4
アクションプラン4 国際競技力の強化.....	9
アクションプラン5 障がい者スポーツの国民理解の促進.....	19
アクションプラン6 障がい者スポーツの支援体制の充実.....	20
アクションプラン7 財政基盤の充実・安定化.....	20
アクションプラン8 協会の組織体制の強化.....	21
アクションプラン9 東京 2020 大会に向けた活動.....	22
その他 .....	22

## I 総 括

当協会は 2013 年 3 月に公表した「日本の障がい者スポーツの将来像(ビジョン)」において、「活力ある共生社会の創造」を目指すことを謳っており、①スポーツの普及拡大(裾野をひろげる)、②競技力の向上(山を高くする)を二本柱として、ビジョンの実現に向け、アクションプランに沿った取り組みを進めた。また、策定から 5 年目を迎えるビジョンについてこれまでの達成状況を確認し、これまで 5 年間における障がい者スポーツを取り巻く環境の変化や、平成 29 年 4 月より施行された第二期スポーツ基本計画や、現状を踏まえた見直しなどを検討した。

障がい者スポーツの普及・振興については、都道府県・指定都市の障がい者スポーツ協会(以下「県等スポーツ協会」という)等に委託した振興事業やフェスティバル事業、全国障害者スポーツ大会や各種競技大会の開催、全国 8 ブロックにおける関係団体連絡協議会の開催、障がい者スポーツ指導者の養成などとおして、地域における障がい者スポーツの核となる県等スポーツ協会等の組織支援、障がい者が地域で日常的にスポーツに参加できる環境の整備及び行政や関係団体の協力・連携体制の強化などの活動を推進した。また、新たな取り組みとして、大学、関係学会等、研究機関との連携を図り、学術的分野からの研究結果の発表の場を提供することで、将来的に障がい者のスポーツ活動がより身近なものとなるよう合同コンGRESを開催した。

国民への障がいの理解や障がい者スポーツの理解促進については、障がい者スポーツ体験会の開催やソーシャルメディアを活用した広報活動の促進、広報冊子の配布、ジャパンパラ競技大会等における障がい者スポーツの解説やファンづくり、支援企業による各種イベント開催などの活動を推進した。

競技力の向上については、新設した「東京 2020 特別強化委員会」や「女性スポーツ委員会」において、選手の競技力向上、女性アスリートの競技環境の改善、メダル目標達成に向けた取り組みを行った。また、国際障がい者スポーツ総合大会派遣事業の一つである、ピョンチャン 2018 冬季パラリンピック競技大会では、日本代表選手団は、金メダル 3 個、銀メダル 4 個、銅メダル 3 個、合計 10 個のメダルを獲得し大活躍した。

さらに、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会、内閣府・スポーツ庁等関係機関・団体との連携を深め、民間企業からの支援充実などの取り組みを行った。また、障がい者スポーツ団体の基盤強化の観点からガバナンス体制構築やコンプライアンスの徹底に向けた取り組みを行った。

## Ⅱ 平成 29 年度の具体的な施策

### アクションプラン1. スポーツ施策の一元化

#### 1. スポーツ団体との連携

スポーツ庁、日本オリンピック委員会(JOC)、日本体育協会、日本スポーツ振興センター(JSC)、日本パラリンピック委員会(JPC)トップによる「5 者協議」に参加した。

#### 2. 都道府県におけるスポーツ関係団体の連携支援

3 年目となる都道府県・指定都市行政、県等障がい者スポーツ協会、県等指導者協議会の 3 者による障がい者スポーツ連絡協議会を今年度も全国 8 ブロックで開催し、各都道府県・指定都市におけるスポーツの施策一元化とその動向や障がい者スポーツの地域振興体制の構築を進めるための情報交換や意見交換を実施した。

### アクションプラン2. 障がい者スポーツ振興体制の整備

都道府県・指定都市障がい者スポーツ協会の組織の運営支援の一環として、地域における障がい者スポーツの振興事業の拡充を図った。

障がい者スポーツ指導者の育成については、障がい者スポーツ指導者養成事業と障がい者スポーツ指導者の資質向上のための研修事業を実施した。また、技術委員会において指導者制度の見直しに関する議論を開始した。

総合型地域スポーツクラブに関しては、日本体育協会が開催するクラブネットワークアクション事業に参画し、障がい者スポーツに関する情報共有を行った。

#### 1. 障がい者スポーツ指導者の育成

##### (1) 障がい者スポーツ指導者養成事業

##### 1) 初級及び中級障がい者スポーツ指導員養成講習会の認定

都道府県・指定都市、各県障がい者スポーツ協会・県指導者協議会、その他関係機関が実施する初級及び中級障がい者スポーツ指導員養成講習会の認定を行った。

平成 29 年度 障がい者スポーツ指導員養成講習会 地方主催研修会実施状況  
(平成 30 年 2 月 14 日現在)

##### ◆初級障がい者スポーツ指導員養成講習会(83 カ所)

【都道府県・ブロック主催】 62 カ所

【政令指定都市及びその他市区町村主催】 20 カ所

【その他関係団体主催】 1 カ所

##### ◆中級障がい者スポーツ指導員養成講習会(12 カ所)

①初級障がい者スポーツ指導員対象【都道府県主催】 7 カ所

②日本体育協会公認指導者対象【都道府県主催】 0 カ所

③理学療法士対象【日本理学療法士協会主催】2カ所

【都道府県主催】3カ所

(2)障がい者スポーツ指導員等各種講習会の開催

講習会名	期 日	場 所	受講者数
上級障がい者スポーツ指導員養成講習会	前期 平成 29 年 8 月 25 日(金)～28 日(月) 後期 平成 29 年 11 月 4 日(土)～7 日(火)	大阪市長居障がい者スポーツセンター 大阪市舞洲障がい者スポーツセンター	31 名
中級障がい者スポーツ指導員養成講習会(1)	前期 平成 29 年 9 月 29 日(金)～10 月 3 日(火) 後期 平成 30 年 2 月 8 日(木)～12 日(月・祝)	下関市社会福祉センター 下関市宮下関陸上競技場	25 名
中級障がい者スポーツ指導員養成講習会(2) ※日体協公認指導者対象	平成 29 年 7 月 20 日(木)～23 日(日)	郡山ユラックス熱海	35 名
中級障がい者スポーツ指導員養成講習会(3) ※日体協公認指導者対象	平成 29 年 7 月 27 日(木)～30 日(日)	佐賀県勤労身体障害者教養文化体育館 佐賀県総合運動場内 水泳場	29 名
中級障がい者スポーツ指導員養成講習会(4) ※日体協公認指導者対象	平成 29 年 9 月 15 日(金)～18 日(月・祝)	滋賀県立障害者福祉センター	39 名
中級障がい者スポーツ指導員養成講習会(5) ※日体協公認指導者対象	平成 29 年 12 月 2 日(土)～5 日(火)	埼玉県障害者交流センター	47 名
障がい者スポーツコーチ養成講習会	前期 平成 29 年 6 月 23 日(金)～25 日(日) 後期 平成 29 年 12 月 8 日(金)～10 日(日)	味の素ナショナルトレーニングセンター	21 名
障がい者スポーツトレーナー養成講習会	1 次 平成 29 年 8 月 18 日(金)～20 日(日) 2 次 平成 30 年 1 月 18 日(木)～21 日(日)	障害者スポーツ文化センター 横浜ラホール	54 名
障がい者スポーツ医養成講習会	平成 30 年 2 月 23 日(金)～25 日(日)	国立障害者リハビリテーションセンター	70 名
全国障害者スポーツ大会障害区分判定研修会	平成 29 年 7 月 8 日(土)・9 日(日)	越前市福祉健康センター	66 名
ステップアップ研修会(1)	平成 29 年 11 月 19 日(日)	東京都多摩障害者スポーツセンター	43 名
ステップアップ研修会(2)	平成 30 年 1 月 28 日(日)	名古屋市障害者スポーツセンター	21 名
障がい者スポーツトレーナースキルアップ研修会	平成 29 年 11 月 11 日(土)・12 日(日)	愛知医療学院短期大学	34 名
資格取得認定校研修会	平成 30 年 1 月 16 日(火)	戸山サンライズ	39 名
第 13 回障がい者スポーツ指導者全国研修会	平成 29 年 11 月 25 日(土)・26 日(日)	鹿児島女子短期大学	171 名

JPSAが主催して行う障がい者スポーツを支える指導者の養成及び専門性の高い有資格者の育成並びにレベルアップにつながる講習会、研修会を開催した。

### アクションプラン3. 障がい者スポーツの普及・振興

#### 1. 第 17 回全国障害者スポーツ大会(愛媛大会)

前年同様、本大会・リハーサル大会での実施される全 13 競技に 20 名の技術指導員を派遣し、開催県の主管競技団体等と連携し、競技規則に則った競技運営支援をおこなった。

本大会終了後の報告をもとに現状の大会、競技運営の課題やその改善策等を検討し、次年度以降の競技運営の円滑化を図ることとした。

##### (1) 本大会(公益財団法人 JKA 補助事業)

会 期 平成 29 年 10 月 28 日(土)～30 日(月)

開閉会式会場 愛媛県総合運動公園陸上競技場(ニンジニアスタジアム)ー松山市

愛 称 愛顔(えがお)つながえひめ大会

大会スローガン 君は風 いしづちを駆け 瀬戸に舞え

参加人数 5,500 名(選手 3,500 名:役員 2,000 名)

##### (2) 地区予選会(公益財団法人 JKA 補助事業)

会 期 平成 29 年 4 月～6 月

内 容 ブロックごと(北海道・東北ブロック、関東ブロック、北信越・東海ブロック、近畿ブロック、中国・四国ブロック、九州ブロック)に身体障がい者、知的障がい者及び精神障がい者の団体競技について予選を行った。

#### 2. 全国障害者スポーツ大会の内容充実

##### (1) 第 1 回全国障害者スポーツ大会 大会委員会の開催

日 時 平成 29 年 12 月 21 日(木) 13:30～15:30

会 場 日本障がい者スポーツ協会 会議室

議 題 開催基準要綱の見直しについて

##### (2) 全国障害者スポーツ大会技術指導員の派遣報告会

日 時 平成 29 年 12 月 12 日(火)、15 日(金)

会 場 日本障がい者スポーツ協会 会議室

内 容 第 17 回全国障害者スポーツ大会(えひめ大会)の全 13 競技に派遣された競技別技術指導員より、大会へ参加した選手の状況や大会運営、競技運営等の現状や課題の報告を受け、今後の競技規則の改正も含めた、競技運営のあるべき姿について意見交換を行った。

### 3. 障がい者スポーツの振興事業

#### (1) 地域における障がい者スポーツの振興事業

身近な地域において障がい者がスポーツに参加できる環境づくりを目指し、都道府県の障がい者スポーツ協会、障がい者スポーツ指導者や関係団体と連携して行う、障がい者向けのスポーツ教室や障がい特性を踏まえたスポーツイベント等の開催に対し助成した。

No.	団体名	委託費 (千円)	受託 回数	事業名／内容
1	公益財団法人北海道障がい者スポーツ協会	2,000	4年目	<b>北海道における障がい児者スポーツの振興事業</b> ① 全道巡回障がい児者スポーツ教室開催事業
2	一般社団法人岩手県障がい者スポーツ協会	2,000	初	<b>障がいのある方々の「競技スポーツ・生涯スポーツ・リハスポーツ」推進事業</b> ① スポーツ教室開催事業 ② パラリンピック選手発掘・育成強化事業 ③ 障がい者スポーツ導入研修会 ④ 各市町村連携及び地域人材活用事業
3	宮城県障害者スポーツ協会	2,000	2年目	<b>宮城県障害者スポーツ振興事業</b> ① 障害児運動・あそびの広場開催事業 ② 宮城県卓球/バレー交流会開催事業
4	公益財団法人福島県障がい者スポーツ協会	3,000	3回目	<b>ジャンプアップふくしま2017</b> ① 福島地域スポーツ教室 ② 陸上競技審判実地講習会 ③ 総合型地域スポーツクラブ協働トライアウト事業
5	一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会	2,000	5回目	<b>埼玉県障がい者スポーツ地域連携づくり事業</b> ① 障がい者スポーツ地域連携づくり事業（秩父地域） ② 障がい者スポーツ地域拠点づくり調査研究事業
6	公益財団法人長野県障がい者スポーツ協会	2,000	2年目	<b>長野県における障がい者スポーツ活動環境強化支援事業</b> ① 障がい者スポーツ体験教室開催事業（体験用競技用具購入） ② アスリートセミナー開催事業
7	公益財団法人静岡県障害者スポーツ協会	2,000	5年目	<b>静岡県障がい者スポーツ地域連携普及振興事業</b> ① ファーストチャレンジスポーツ指導者派遣事業 ② スポーツ体験フォーラム開催事業 ③ 地域連携障がい者スポーツ環境創設事業
8	三重県障がい者スポーツ協会	2,000	初	<b>三重県障がい者スポーツ振興事業</b> ① 三重県障がい者スポーツフェスティバル2017 ② 地域障がい者スポーツ体験教室 ③ 陸上競技の人づくり事業 ④ 水泳選手の発掘・育成事業
9	公益財団法人兵庫県障害者スポーツ協会	2,000	3回目	<b>障がい者スポーツ連携推進プロジェクト2017</b> ① チャレンジバラ！"ゴールボール、カヌー体験"教室 ② 障がい者スポーツサポーター養成事業 ③ 見てほしい知ってほしいバラスポーツ！（見る・触れる・交流）
10	和歌山県障害者スポーツ協会	2,000	初	<b>和歌山県における障害者スポーツの振興事業</b> ① 障がい者スポーツ教室開催事業 ② 障がい者スポーツ活性化事業（団体競技重点的強化事業）
11	広島県障害者スポーツ協会	2,000	2年目	<b>広島県における障がい者スポーツ振興事業・地域推進事業</b> ① 地域推進事業（スポーツ推進委員等を対象としたスポーツ体験事業） ② 障がい者スポーツ体験会（各市町開催） ③ 普及啓発イベント ④ 障がい者スポーツ体験会（特別支援学校対象）
12	公益社団法人山口県障害者スポーツ協会	2,000	5年目	<b>山口県における障害者スポーツの推進事業</b> ① 地域障害者スポーツ教室開催事業 ② 障害者交流スポーツ大会開催事業 ③ 障害者スポーツ指導者養成事業
13	愛媛県障がい者スポーツ協会	3,000	4年目	<b>愛媛県障がい者スポーツ理解啓発事業</b> ① 障がい者スポーツ拠点整備事業 ② 障がい者スポーツ紹介事業（体験事業）
14	社会福祉法人高知県社会福祉協議会 高知県立障害者スポーツセンター	2,000	3回目	<b>障害者スポーツ普及啓発事業</b> ① 東部地区ボッチャ競技大会 ② 幡多地区陸上競技大会 ③ 種まく大人実行委員会事業
15	鹿児島県障害者スポーツ協会	3,000	2回目	<b>障がい者スポーツの普及と選手の発掘・育成事業</b> ① 障がい者スポーツ体験普及教室開催事業 ② 障がい者バレーボール教室開催事業
16	特定非営利活動法人沖縄県障がい者スポーツ協会	2,000	5年目	<b>沖縄県スポーツプロジェクト</b> ① 知的障がい者福祉施設スポーツ・レク祭り ② 障がい者バスケットボール教室 ③ 聴覚障害者バレーボール教室 ④ 障がい者サッカー教室
		35,000		

## (2) 障がい者スポーツ理解促進フェスティバル開催事業

都道府県・指定都市の障がい者スポーツ協会、障がい者スポーツセンターを核とした『障がい者スポーツの体験を通じて障がい者スポーツの理解を深める』フェスティバル事業を開催した。

No.	都道府県・市	委託費 (千円)	受託 回数	団体名	事業名	開催日程	会場
1	兵庫県	1,500	2年目	公益財団法人兵庫県障害者スポーツ協会	夢プロジェクト：パラ・スポーツワールド2017ひょうご	10月8日(日)	神戸ハーバーランドumie
2	徳島県	1,500	初	徳島県障がい者スポーツ協会	頑張るんじょ！とくしまパラスポーツフェスティバル (徳島県障がい者スポーツ協会設立1周年記念)	1月27日(土) 1月28日(日)	徳島グランヴィリオホテル 徳島県立障がい者交流プラザ
3	北海道	1,500	2回目	北海道障がい者スポーツ指導者協議会	障がい者スポーツふれあいフェスティバル2017	8月11日(金・祝)	札幌市東区体育館
4	北九州市	1,200	初	北九州市障害者スポーツ協会	障がい者スポーツフェスタ 2017 in 北九州	11月12日(日)	北九州市立総合体育館
		5,700					

## (3) 障がい者スポーツ理解促進フェスティバル開催事業 合同フェスティバル

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を控え、国内のスポーツ環境が大きく変化する中、スポーツ関係団体の連携・協力と、障がい者のスポーツ参加の促進に向けた取り組みとして、日本のスポーツを統括する(公財)日本体育協会と(公財)日本オリンピック委員会、(公財)日本障がい者スポーツ協会 日本パラリンピック委員会の 3 組織が協力し実施した。障がい者スポーツの体験等を通して、障がいの有無に関わらずスポーツの楽しさや喜び、スポーツの価値を共有し、その重要性を広く啓発すること、また、あらゆる人々がスポーツを享受し、公正で福祉豊かな地域生活の創造に向けて、障がい者スポーツ推進体制の整備を図ることを目的に開催した。

No.	開催地	事業名/協力団体	開催日/会場
1	岩手県	ジャパンスポーツフェスタ in 岩手	平成 29 年 11 月 11 日(土)
		日本パラバレーボール協会、岩手県、岩手県障がい者スポーツ協会、ふれあいランド岩手、岩手県障がい者スポーツ指導者協議会、岩手県体育協会、岩手県バレーボール協会、岩手県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会 他	ふれあいランド岩手
2	岐阜県	ジャパンスポーツフェスタ in 岐阜	平成 30 年 1 月 20 日(土)
		日本パラバレーボール協会、岐阜県、岐阜県障害者スポーツ協会、岐阜県障害者スポーツ指導者協議会、岐阜県体育協会、岐阜県障害者スポーツ指導者協議会、岐阜県体育協会、岐阜県レクリエーション協会、岐阜県バレーボール協会 他	岐阜メモリアルセンター

(4) 初級障がい者スポーツ指導員等養成講習会開催事業(協会主催分)

初級、中級障がい者スポーツ指導員養成講習会や指導者の資質向上のための研修会の開催を助成し、地域振興に欠かせない人材養成に積極的に取組む為の事業を推進した。

No.	都道府県・市	委託費 (千円)	団体名	事業区分※	名称
1	茨城県	600	茨城県障害者スポーツ・文化協会	中級②	茨城県理学療法士中級障がい者スポーツ指導員養成講習会
2	群馬県	300	群馬県障害者スポーツ協会	初級①	群馬県初級障がい者スポーツ指導員養成講習会
3	新潟県	300	新潟県障害者スポーツ協会	初級②	障がい者スポーツ指導員養成研修会(初級・新潟市会場)
4	石川県	300	石川県障害者スポーツ協会	初級①	初級障がい者スポーツ指導員養成講習会(小松会場)
5	岐阜県	300	一般社団法人岐阜県障害者スポーツ協会	初級②	平成29年度初級障がい者スポーツ指導員養成講習会
6	静岡県	300	公益財団法人静岡県障害者スポーツ協会	初級①	平成29年度初級障がい者スポーツ指導員養成講習会①
7		700	公益財団法人静岡県障害者スポーツ協会	スキルアップ	平成29年度静岡県障がい者スポーツ指導員スキルアップ研修会①②
8		600	公益財団法人静岡県障害者スポーツ協会	中級②	平成29年度理学療法士中級障がい者スポーツ指導員養成講習会②
9	京都市	1,200	公益財団法人京都市障害者スポーツ協会	中級①	平成29年度京都中級障がい者スポーツ指導員養成講習会
10	大阪府	300	大阪府障がい者スポーツ協会	スキルアップ	公認障害者スポーツ指導員等スキルアップ研修会
11	大阪市	300	社会福祉法人大阪市障害者福祉・スポーツ協会	初級②	平成29年度大阪市スポーツ推進委員対象 障がい者スポーツ指導員養成講習会(初級)
12	兵庫県	300	公益財団法人兵庫県障害者スポーツ協会	初級①	第39回兵庫県障害者スポーツ指導員養成講習会
13	神戸市	300	社会福祉法人大阪市障害者福祉・スポーツ協会	初級②	平成29年度 第29回初級障がい者スポーツ指導員養成講習会
14	和歌山県	300	和歌山県障害者スポーツ協会	初級①	平成29年度和歌山県初級障がい者スポーツ指導員養成講習会
15	島根県	300	公益財団法人島根県障害者スポーツ協会	初級①	平成29年度島根県障がい者スポーツ指導員養成研修会
16	広島県	1,200	広島県障害者スポーツ協会	中級①	平成29年度中級障がい者スポーツ指導員養成講習会
17	北九州市	300	北九州市障害者スポーツ協会	初級②	平成29年度初級障がい者スポーツ指導員養成特別講習会
18	熊本県	300	熊本県障害者スポーツ・文化協会	初級②	熊本県障害者スポーツ指導員(初級)養成講習会
19	大分県	300	大分県障がい者体育協会	初級②	大分県初級指導員養成講習会開催事業
20	佐賀県	300	一般社団法人佐賀県障がい者スポーツ協会	初級①	初級障がい者スポーツ指導員養成講習会(佐賀)
21	沖縄県	700	特定非営利活動法人沖縄県障がい者スポーツ協会	スキルアップ	沖縄県公認障がい者スポーツ指導員スキルアップ研修会
		9,500			

#### 4. 調査研究事業

##### (1) 障がい者スポーツ関係学会との連携(障がい者スポーツ関係学会合同会議)

###### 第1回障がい者スポーツ関係学会合同コンgres

障がい者スポーツ関係学会・団体関係者が一堂に会し、障がい者スポーツの将来に向けた課題や情報を共有する場として、障がい者スポーツ関連分野での学術振興を目的とした合同コンgresを初めて開催した。

メインテーマ 障がい者スポーツの未来

日 時 平成 29 年 12 月 16 日(土)～17 日(日)

場 所 早稲田大学 大隈記念講堂

協 力 日本障がい者スポーツ学会、日本体育学会アダプテッド・スポーツ科学専門領域、日本アダプテッド体育・スポーツ学会、医療体育研究会、日本障がい者体育・スポーツ研究会、公益社団法人日本リハビリテーション医学会障害者スポーツ委員会

参加者 来場者 256 名 学会関係者 101 名 計 357 名

##### (2) 専門委員会等での調査研究事業

###### JPSA 公認障がい者スポーツ指導者アンケート調査

平成 14 年から公認指導者の実態について、調査を実施して来ているが、平成 24 年調査から 5 年が経過しており、この度平成 29 年度の事業として、追跡調査を実施した。なお、今後は 5 年ごとの頻度で同様の調査を実施していく。

実施期間:平成 29 年 11 月 13 日(月)～12 月 5 日(火)

調査対象:平成 29 年度協会登録指導員(10 月末) 24,445 名

実施方法:①アンケート用紙に直接回答し返送用封筒で返信

②Web ページエントリーによるインターネットを通じた回答

#### アクションプラン4. 国際競技力の強化

##### 1. 国際障がい者スポーツ総合大会への選手および役員の派遣

###### (1) 第23回夏季デフリンピック競技大会サムスン 2017

大会名称 第23回夏季デフリンピック競技大会(通称:サムスン 2017 デフリンピック大会)

開催期間 平成29年7月18日(火)開会式～7月30日(日)閉会式【13日間】

開催国・都市 トルコ共和国・サムスン

運営主体 国際ろう者スポーツ委員会

第23回夏季デフリンピック競技大会組織委員会

参加国・地域数 86ヶ国

参加人数 2,855人(選手)

実施競技 陸上、バドミントン、バスケットボール、ビーチバレーボール、ボウリング、サイクリング、サッカー、ゴルフ、ハンドボール、柔道、空手、マウンテンバイク、オリエンテーリング、射撃、水泳、卓球、テコンドー、テニス、バレーボール、レスリング(フリースタイル)、レスリング(グレコローマン) (21競技)

※アンダーラインは日本選手が参加の競技(11競技)

日本代表選手団選手・役員の数

選手 108名 役員 69名 合計 177名

##### メダラー一覧

メダル	選手名	種目	合計
金メダル	尾塚愛実、高良美樹、三浦早苗、村木玲奈、前島奈美、畠奈々子、中田美緒、宇賀耶早紀、長谷山優美、安積梨絵、平岡早百合、山崎望	バレーボール 女子	6 個
	山田真樹	陸上競技 男子 200m	
	山田真樹、三枝浩基、設楽明寿、佐々木琢磨	陸上競技 男子 4×100mリレー	
	藤原慧	水泳 男子 400m自由形	
		水泳 男子 1500m自由形	
		水泳 男子 400m個人メドレー	
銀メダル	山田真樹	陸上競技 男子 400m	9 個
	湯上剛輝	陸上競技 男子円盤投げ	
	藤原慧	水泳 男子 200mバタフライ	
		水泳 男子 200m自由形	
	金持義和	水泳 男子 200m背泳ぎ	
		水泳 男子 100m背泳ぎ	
	茨隆太郎	水泳 男子 200m個人メドレー	
	藤原慧、金持義和、茨 隆太郎、津田悠太	水泳 男子 4×200m自由形リレー	

	藤原慧、金持義和、茨隆太郎、津田悠太	水泳 男子 4×100mメドレー	
メダル	選手名	種目	合計
銅メダル	滝澤佳奈子	陸上競技 女子棒高跳び	12 個
	石田考正	陸上競技 男子ハンマー投げ	
	長原茉奈美	バドミントン 女子シングルス	
	早瀬久美	自転車（マウンテンバイク） 女子 XCO	
	亀澤理穂、川崎瑞恵	卓球 女子ダブルス	
	亀澤理穂、川崎瑞恵、高岡里吏	卓球 女子団体	
	簗原由加利	自転車（ロード） 女子個人タイムトライアル	
	藤原慧	水泳 男子 200m個人メドレー	
	金持義和	水泳 男子 50m背泳ぎ	
	茨隆太郎	水泳 男子 400m個人メドレー	
	藤原慧、金持義和、茨隆太郎、津田悠太	水泳 男子 4×100m自由形リレー	
	金持義和、茨隆太郎、藤川彩夏、久保南	水泳 混合 4×100mメドレー	

## (2) ドバイ 2017 アジアユースパラ競技大会

大会名称 ドバイ 2017 アジアユースパラ競技大会 (Dubai 2017 Asian Youth Para Games)

大会期間 平成 29 年 12 月 10 日(日)開会式～13 日(水)閉会式

開催地 UAE・ドバイ

運営主体 アジアパラリンピック委員会(APC)

参加国・地域 30 カ国・地域 713 選手 (前回マレーシア大会:27 カ国・地域)

実施競技／年齢区分

No.	競技名	男女	年齢カテゴリー	対象年齢
1	陸上競技	男・女	ユース(U18)	14 歳～17 歳
		男・女	ジュニア(U20)	18 歳～19 歳
2	バドミントン	男・女		13 歳～21 歳
3	ボッチャ	混合	ユース	15 歳～21 歳
4	ゴールボール	男・女	ユース	15 歳～19 歳
5	パワーリフティング	男・女	ジュニア	14 歳～20 歳
6	水泳	男子	ユース	12 歳～16 歳
		男子	ジュニア	17 歳～18 歳
		女子	ユース	12 歳～15 歳
		女子	ジュニア	16 歳～18 歳
7	卓球	男・女	ユース	12 歳～23 歳

※対象年齢は 2017 年 12 月 31 日時点でのもの。

※アーチェリー・テンピンボウリング・チェスは実施中止

#### 日本選手団派遣概要

選手 87 名 競技パートナー 8 名

競技団体役員・コーチ 59 名 本部役員 18 名 計 172 名

#### 成 績

1)メダル獲得数 金:44 銀:29 銅:26 計:99

2)競技別メダル獲得数

No	競技名		選手数	金	銀	銅	計
1	陸上競技	身体	22	15	9	5	29
2		知的	7	4	1	0	5
3	水泳	身体	15	14	7	8	29
4		知的	7	5	5	4	14
5	卓球	身体	8	3	5	3	11
6		知的	5	1	0	3	4
7	ボッチャ		12	1	1	1	3
8	パワーリフティング		2	0	1	1	2
9	バドミントン		3	1	0	1	2
10	ゴールボール		6	0	0	0	0
	計		87	44	29	26	99

#### (3)平昌 2018 パラリンピック冬季競技大会

大会名称 平昌 2018 パラリンピック冬季競技大会

(PyeongChang 2018 Paralympic Winter Games)

大会期間 平成 30 年 3 月 9 日(金)開会式 ~ 3 月 18 日(日)閉会式(10 日間)

開 催 地 大韓民国・平昌(ピョンチャン)郡・江陵(カンヌン)市

運営主体 国際パラリンピック委員会(IPC)

平昌 2018 オリンピック・パラリンピック組織委員会(POCOG)

参加国・地域 49NPC(前回 45NPC)

※ロシアからの参加は、NPA(ニュートラル パラリンピック アスリートとして参加、49 に含まない)

開催規模 6 競技・80 種目(前回 72 種目)参加選手数 567 人(前回 547 人)

実施競技・会場(全 6 競技)

NO	競技名		競技会場名
1	アルペンスキー	平昌地区	Jeongseon Alpine Centre
2	バイアスロン		Alpensia Sports Park (Biathlon Centre)
3	クロスカントリースキー		
4	スノーボード		Jeongseon Alpine Centre
5	アイスホッケー	江陵地区	Gangneung Hockey Centre
6	車いすカーリング		Gangneung Curling Centre
	選手村	平昌地区	

※ 選手村を含めオリンピックと同会場を使用。

※ 選手村はオリンピックの江陵地区の使用はなく平昌地区の 1 ケ所

## 日本代表選手団の概要

1) 日本代表選手団 86 名

選手 38 名・ガイド 1 名

スタッフ 47 名(コーチ・役員・本部役員)

## 日本代表選手団の成績

### 1)入賞種目数一覽

No	競技名	選手数	メダル				4位～8位		合計	
			金	銀	銅	人数	種目	人数	入賞数	人数
1	アルペンスキー	9	1	3	2	2	7	4	13	9
2	スノーボード	3	1	0	1	1	2	1	4	2
3	クロスカントリースキー	9	1	1	0	1	2	3	4	4
4	バイアスロン	(6)	0	0	0	0	1	1	1	1
5	アイスホッケー	17	0	0	0	0	1	17	1	17
合計		38	3	4	3	4	13	26	23	33

※バイアスロンの6名は、クロスカントリースキーにも出場

## 2) 金メダル

- ① 新田 佳浩 クロスカントリースキー スタンディング 男子クラシカル 10Km  
② 村岡 桃佳 アルペンスキー シッティング 女子ジャイアントスラローム(大回転)  
③ 成田 緑夢 スノーボード スタンディング 男子バンクドスラローム LL2

### 3) 銀メダル

- ① 新田 佳浩 クロスカントリースキー スタンディング 男子スプリントクラシカル 1.5Km  
② 村岡 桃佳 アルペンスキー シットディング 女子ダウンヒル(滑降)  
③ 村岡 桃佳 アルペンスキー シットディング 女子スラローム(回転)  
④ 森井 大輝 アルペンスキー シットディング 男子ダウンヒル(滑降)

#### 4)銅メダル

- ① 村岡 桃佳 アルペンスキー シッティング 女子スーパーG  
② 村岡 桃佳 アルペンスキー シッティング 女子スーパーコンビ(スーパーG+回転)  
③ 成田 緑夢 スノーボード スタンディング 男子スノーボードクロス LL2

## 2. 競技団体が行う強化活動に対する助成(補助)

### (1)助成金(補助金)配分方針

パラリンピック等の競技実績等による基礎配分と、重点強化指定競技への特別配分により、対象競技団体の助成額を設定した。

## (2)对象团体

日本パラリンピック委員会に加盟する以下の競技団体とした。

- 1) 肢体不自由、視覚障がい関連競技団体(36 団体)  
2) 聴覚障がい関連競技団体(19 団体)  
3) 知的障がい関連競技団体( 7 団体)

### (3)対象事業

### 1) 選手強化活動事業

#### ① 選手強化活動事業

競技団体の強化指定選手を対象とした国内外で実施する強化合宿及び国外へのチーム派遣または海外チームの招聘等

#### ② コーチ力強化事業

海外の優秀なコーチの招聘または海外へのコーチ派遣

#### ③ 競技団体選手強化体制整備事業

競技団体における国際競技力向上のための強化活動にかかる強化委員会等の会議の開催や競技大会の視察及びその他強化体制の整備を図るための事業。

### 3. 選手発掘事業

パラリンピックでのメダル獲得が期待出来る選手発掘のため、日本パラリンピック委員会に加盟するパラリンピック実施競技団体の協力を得て下記の事業を実施した。

東京 2020 パラリンピック代表選手の発掘を目的に競技転向型の事業を実施。

#### < 独自事業 >

期 日	場 所	参加者数	実施競技数
平成 29 年 7 月 17 日(月祝)	大阪市長居障がい者 スポーツセンター	30 名	13 競技

#### < JSC 委託事業 >

期 日	場 所	参加者数	実施競技数
平成 30 年 2 月 4 日(日)	埼玉県障害者交流センター	29 名	18 競技

### 4. 専任スタッフ設置事業

パラリンピック競技大会をはじめとする国際競技大会で活躍が期待できる競技者を有する JPC 加盟団体および本会に強化活動全般を統括するナショナルコーチや専任コーチングディレクター、専任メディカルスタッフ、専任情報・科学スタッフ、専任クラシファイア、専任競技パートナーを設置し、選手の育成・強化を効果的に推進した。

### 5. JPC 医・科学・情報サポート事業

(1) パラリンピック実施競技団体を対象に、選手の競技力強化のために、医・科学・情報面の支援および体制構築を行った。

(2) 医・科学・情報分野の理解および活用技術向上のための研修会(競技団体スタッフ・選手対象)の開催。

(3) データベースの一元化

上記に関する選手データ等の一元管理及び応用活用。

### 6. 強化活動実施状況視察

競技団体が行う強化活動や国内で実施される競技大会を視察し、強化活動が効果的に実施されているかを判断する。また、視察に基づき今後の強化計画に反映することを目的に実

施した。

## 7. 競技別指導者養成事業

本会が制定する「公認障がい者スポーツ指導者制度」に基づく、障がい者スポーツコーチ、障がい者スポーツ医、障がい者スポーツトレーナー講習会のほか、各競技における指導者の養成及び資質向上のための支援を行った。

- (1)JPC 加盟競技団体に対し、海外で開催される国際資格取得・更新講習会への派遣経費を助成するとともに、国内講習会開催費用への助成を行った。
- (2)JPC 加盟競技団体が開催する指導者養成・育成・資質向上のための講習会・研修会への助成を行った。

## 8. 選手強化対策委員会の開催

### (1)JPC 運営委員会

- 第1回 平成29年 6月16日(金)
- 第2回 平成30年 1月22日(月)
- 第3回 平成30年 3月22日(木)

### (2)JPC 東京2020 特別強化委員会→アクションプラン9へ

### (3)JPC 強化委員会

- 第1回 平成29年 6月 3日(土)
- 第2回 平成29年 9月 6日(水)
- 第3回 平成29年10月20日(金)
- 第4回 平成29年12月25日(月)
- 第5回 平成30年 3月24日(土)

### (4)JPC アスリート委員会

#### 委員会総会

- 第1回 平成29年 5月13日(土)
- 第2回 平成30年 3月17日(土)

#### 幹事会

- 第1回 平成29年 4月20日(木)
- 第2回 平成29年 7月28日(金)
- 第3回 平成29年11月12日(日)

### (5)JPC 女性スポーツ委員会→アクションプラン6へ

### (6)JPC メダル目標ワーキンググループ(平昌)

- 第1回 平成29年 5月15日(月)
- 第2回 平成29年11月28日(火)

第3回 平成30年 1月16日(火)

(7)競技団体に対する強化計画ヒアリング

(8)JSC、スポーツ庁との「協働チーム」

9. アンチ・ドーピング活動の推進

(1)教育・啓発活動

アンチ・ドーピング研修会 32 競技団体／37 回実施

アウトリーチプログラム 7 回実施

(2)競技会検査・競技会外検査

競技会検査 13 競技／25 回実施

ジャパンパラ競技大会 6 回実施

競技会外検査を実施

(3)使用薬物指導

使用薬物事前調査

TUE 申請

10. 競技団体等の国際活動支援・推進

(1)国内競技団体の国際活動支援

(2)国際競技大会・国際会議の招致のための活動推進

(3)国際組織との連絡調整

国際パラリンピック委員会をはじめとする国際組織に加盟し、連絡・調整を図るため、各種国際会議に参加した。

1)IPC 理事会

第1回 日程 平成29年5月18日(木)～20日(土)

場所 スペイン/バルセロナ

第2回 日程 平成29年9月3日(日)～4日(月)

場所 UAE/アブダビ

第3回 日程 平成30年1月26日(金)～27日(日)

場所 ドイツ/ボン

2)IPC 総会

日程 平成29年9月5日(火)～8日(金)

場所 UAE/アブダビ

3)IPC その他

①VISTA 会議

日程 平成 29 年 9 月 20 日(水)～23 日(土)

場所 カナダ/トロント

②東京 2020 パラリンピック大会への参加国最大化についての会合

【オセアニアパラリンピック委員会 委員長との会合】

日程 平成 29 年 12 月 19 日(火)

場所 都内関連組織

【IPC・Agitos Foundation との会合】

日程 平成 30 年 1 月 29 日(月)

場所 IPC 本部(ドイツ・ボン)

4)APC 理事会

第 1 回 日程 平成 29 年 7 月 5 日(水)～6 日(木)

場所 日本/東京都

第 2 回 日程 平成 29 年 12 月 8 日(金)～9 日(日)

場所 UAE/ドバイ

5)IBSA 総会

日程 平成 29 年 10 月 27 日(金)～28 日(土)

場所 ルーマニア/クルージュナポカ

6)IWAS 総会

日程 平成 29 年 12 月 2 日(土)

場所 ポルトガル/ヴィア・レアル・デ・サント・アントニオ

7)Inas 総会

日程 平成 29 年 4 月 23 日(日)

場所 オーストラリア/ブリスベン

8)Inas Asia 総会

日程 平成 29 年 5 月 16 日(火)

場所 タイ/バンコク

(4)国際貢献活動の推進

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた日本国としてのスポーツを通じた国際貢献事業である Sport for Tomorrow について、継続して事業を実施した。

1)モンゴルパラリンピック委員会との情報交換会

日程 : 平成 29 年 7 月 23 日(日)～26 日(水)

場所 : モンゴル・ウランバートル

共催 : モンゴルパラリンピック委員会と日本パラリンピック委員会

2)パラスポーツ講習会(車いすバスケットボール、車いすテニス)

日程 : 平成 29 年 9 月 23 日(土)～10 月 4 日(水)

場所 : ジンバブエ・ハラレ

共催 : 国際交流基金

3)国際協力機構(JICA)報告会

日程 : 平成 29 年 9 月 27 日(水)

場所：国際協力機構(JICA)・東京

主催：国際協力機構

## 11. ジャパンパラ競技大会の開催

パラリンピックや世界選手権大会を目指すトップレベルの選手のために、引き続き国際組織のクラス分け・競技規則を適用したレベルの高い競技大会として、本年度は次の競技を実施した。また、東京 2020 大会での観客満員を見据えて、ジャパンパラ大会での観客増員を図った。

競技名	開催日	参加者等	場 所
ウィルチェアーラグビー	平成 29 年 5 月 25 日(木) ～28 日(日)	3 カ国	千葉ポートアリーナ (千葉県千葉市)
	〈参加国〉日本・アメリカ・オーストラリア		
ゴールボール (女子)	平成 29 年 8 月 4 日(金) ～6 日(日)	4 カ国	千葉ポートアリーナ (千葉県千葉市)
	〈参加国〉日本・ギリシャ・韓国・カナダ		
水泳	平成 29 年 9 月 1 日(金) ～3 日(日)	326 名	東京辰巳国際水泳場 (東京都)
陸上競技	平成 29 年 9 月 22 日(金) ～24 日(日)	369 名	とうほう・みんなのスタジアム(県営あづま陸上競技場) (福島県)
ボッチャ(新規)	平成 29 年 11 月 17 日(金) ～19 日(日)	3 カ国	武蔵野総合体育館 (東京都)
	〈参加国〉日本・タイ・イギリス		
アルペンスキー	平成 30 年 2 月 2 日(金) ～4 日(日)	38 名	菅平高原パインビークススキー場 (長野県上田市)

## 12. 競技別大会

競技団体との共催により次の大会を実施した。

(1) 第 27 回国際盲人マラソンかすみがうら大会(公益財団法人 JKA 補助事業、IPC 公認大会)

開催期間 平成 29 年 4 月 16 日(日)

開催場所 川口運動公園をスタート・ゴールとする霞ヶ浦湖岸周回コース  
(日本陸連公認)

参 加 数 視覚障がい者 131 名

(2) 内閣総理大臣杯争奪 第 45 回日本車椅子バスケットボール選手権大会

開催期間 平成 29 年 5 月 3 日(水・祝)～5 日(金・祝)

開催場所 東京体育館(東京都渋谷区)

参 加 数 全国の各ブロックの予選会を勝ち抜いたチーム及び全国選抜車椅子バスケットボール選手権大会優勝チームの計 16 チーム

(3)文部科学大臣杯争奪第 30 回日本車椅子ツインバスケットボール選手権大会

開催期間 平成 29 年 6 月 10 日(土)～11 日(日)  
開催場所 パークアリーナ小牧(愛知県)  
参加数 全国の各ブロックの予選を勝ち抜いた計 12 チーム

(4)第 28 回全日本女子車椅子バスケットボール選手権大会

第 21 回全国シニア選抜車椅子バスケットボール大会  
開催期間 平成 29 年 7 月 15 日(土)～16 日(日)  
開催場所 グリーンアリーナ神戸(神戸市須磨区)  
参加数 全日本女子選手権大会 7 チーム 全国シニア選抜大会 8 チーム

(5)福岡 2017IBSA テンピンボウリング世界選手権大会

開催時期 平成 29 年 8 月 22 日(火)～30 日(水)  
開催場所 博多スターレーン(福岡県)  
参加数 選手 62 名

(6)三菱電機 WORLD CHALLENGE CUP 2017

開催期間 平成 29 年 8 月 31 日(木)～9 月 2 日(土)  
開催場所 東京体育館(東京都渋谷区)  
参加数 男子 4 チーム(日本、イギリス、オーストラリア、トルコ)

(7)第 37 回大分国際車いすマラソン大会

開催期間 平成 29 年 10 月 29 日(日)  
開催場所 大分市内公認コース  
参加数 ※悪天候により中止

(8)第 29 回全国車いす駅伝競走大会(予定)

開催期間 平成 30 年 3 月 11 日(日)  
開催場所 国立京都国際会館前スタート  
→西京極総合運動公園陸上競技場ゴール 5 区間 21.3km

## アクションプラン5. 障がい者スポーツの国民理解の促進

### 1. 障がい者スポーツの広報

#### (1) インターネットメディアを活用した最新情報の提供

協会ウェブサイトやフェイスブック、ユーチューブ等のインターネットメディアを活用し、障がい者スポーツに関する国内外の最新情報を発信した。

#### (2) 広報冊子等を活用した理解促進

季刊誌「NO LIMIT」をはじめ、障がい者スポーツの歴史や現状、競技紹介・解説冊子等を作成・配布し、障がい者スポーツの理解促進に努めた。

#### (3) ジャパンパラ競技大会を活用した理解促進

##### 1) 大会期間中の活動

大会の観戦誘致を行うとともに、観戦者に対して、場内アナウンスやガイドブックによる競技の解説、体験会、選手との交流会等を実施、障がい者スポーツの魅力を体感してもらった。

##### 2) 大会前の体験会開催

大会直前に、開催地(千葉市)において地元中学校および地元住民に対して事前の体験会を実施した。

ウィルチェアラグビー: 平成 29 年 5 月 1 日(月)、19 日(金)

千葉市立稲浜中学校、同千草台中学校 (2 校 331 名参加)

ゴールボール: 平成 29 年 7 月 2 日(日) 千葉市子ども交流館きぼーる (60 名参加)

#### (4) メディア媒体との連携・協働による普及啓発

メディア媒体と連携・協働し、障がい者スポーツに関する情報の質を拡充した。

#### (5) PRブースの出展

共生スポーツ祭、東京マラソン EXPO、スポーツ祭り、国民体育大会等のスポーツイベント会場やねりんピック秋田 2017 会場に PR ブースを出展し、障がい者スポーツの理解促進に努めた。

#### (6) 平昌 2018 パラリンピック冬季競技大会広報

日本代表選手団に関連した広報媒体の作成・配布を行うほか、メディアとの連携を図り、大会期間中のみならず、大会後の広報活動を充実させることにより、国民の障がい者スポーツに対する関心を高めた。

### 2. メディア向け懇談会の実施

今後、メディアの方々とのコミュニケーション深化や関係性向上の重要性に鑑み、メディア懇談会を開催した。なお、前段で IPC 公認教材である「I'm POSSIBLE」の実際の使用方法例を実演も行なった。

開催日時: 平成 29 年 8 月 29 日(火)

開催場所: JPSA4 階会議室にて

出席者 : メディア 17 社 43 名参加

## アクションプラン6. 障がい者スポーツ支援体制の充実

### 1. アスリート支援事業

JPC 強化指定選手制度により認定された基準に基づき、強化指定選手の効果的な強化活動を支援する。

### 2. アスナビ事業(トップアスリートのための就職支援)

世界を目指す現役トップアスリートの就職支援ナビゲーションとして、競技活動に専念できる環境を整えるために、企業からの支援・採用を望むトップアスリートと採用を検討する企業のマッチングを実現させることを目的に実施した。

(1)採用実績累計 31 名(平成 30 年 1 月末時点)

(2)説明会

平成 29 年 4 月 26 日(水)経団連会館

平成 29 年 6 月 1 日(木)ナショナルトレーニングセンター

平成 29 年 7 月 19 日(水)ナショナルトレーニングセンター

平成 29 年 10 月 10 日(火)ホテルニューオータニ

平成 29 年 10 月 27 日(金)ナショナルトレーニングセンター

### 3. 女性アスリートの支援

JPC 専門部会の JPC 女性スポーツ委員会を設置し、女性アスリートの競技生活を支援する方策を検討した。

第 1 回 平成 29 年 6 月 6 日(火)

第 2 回 平成 30 年 2 月 6 日(火)

## アクションプラン7. 財政基盤の充実・安定化

### 1. 国庫補助金と助成団体

事業実施に必要な体制整備のためには財政基盤の安定が不可欠であり、平成 30 年度も国及び民間助成団体に対し、障がい者スポーツの現況に理解を深め、必要な財源確保に努めた。

### 2. JPSPAオフィシャルパートナー制度の推進

当協会が目指すビジョンに賛同し、障がい者スポーツの普及・振興施策に参画・協働するJPSPA協賛企業の獲得に努めた。(30 社、平成 30 年 3 月末時点)

### 3. 民間資金の獲得

従来からのオフィシャルパートナー以外からの活動資金獲得に努めた。

### 4. 障がい者スポーツ指導者制度に係る認定登録システムの管理強化

障がい者スポーツ指導者の新規登録者及び、継続登録者の登録管理の充実を図った。

## アクションプラン8. 協会の組織体制の強化

スポーツ界におけるコンプライアンスの徹底について、関係団体に対し、文書の発出等により周知を行った。また、登録・加盟競技団体を対象にしたガバナンス研修会を開催し、競技団体に必要な会計の基礎知識と団体運営上の留意点を講義した。また、法人格を取得していない登録・加盟競技団体に対して個別に法人化支援事業を実施した。

### 1. スポーツ競技団体への法人化支援事業の実施

各競技団体の強化費には多額の公金が投入されており、東京 2020 オリパラ大会に向けて国民の注目が高まる中、スポーツ基本法にもあるようにスポーツ団体としての透明性の確保や説明責任等の社会的責任が強く求められるようになり、適正な組織運営が益々重要となることから、法人格を有していない登録・加盟競技団体に対する法人化を支援した。支援の要件としては、平成 30 年 4 月までに法人格取得を目指す意思がある競技団体であり、要望のあった 3 団体を対象に個別に法人化支援事業を実施、一般社団法人の法人格取得を目指した。

法人化支援団体 3 団体

### 2. スポーツ競技団体へのガバナンス研修会事業の実施

各競技団体の強化費には多額の公金が投入されており、東京 2020 オリパラ大会に向けて国民の注目が高まる中、スポーツ基本法にもあるようにスポーツ団体としての透明性の確保や説明責任等の社会的責任が強く求められるようになり、適正な組織運営が益々重要となることから、登録・加盟競技団体を対象に、会計と団体運営に関する研修を行うことによって、各団体のガバナンスの強化を図った。なお、競技団体の参加を増加させるため、同じ内容の研修を 2 回に渡って開催した。また、研修会をビデオ録画したものを競技団体限定で公開し、研修会に参加できなかった人並びに繰り返し復習したい受講者に研修の機会を設けた。

#### (1) ガバナンス研修会 I 会計

開催日時 平成 29 年 10 月 14 日(土) 10:00～17:45

場 所 公益財団法人日本障がい者スポーツ協会 4 階大会議室

概 要 決算・会計の概要、法人税・消費税、競技団体特有の会計処理、その他  
(JPC 加盟競技団体のみ対象) JSC 競技力向上事業説明会

参加団体 29 団体

#### (2) ガバナンス研修会 II 運営

開催日時 平成 29 年 10 月 15 日(土) 10:00～17:30

場 所 公益財団法人日本障がい者スポーツ協会 4 階大会議室

概 要 ガバナンスとコンプライアンスの重要性について、スポーツ紛争の解決、  
東京 2020 大会に向けたサイバーセキュリティ対策、反社会的勢力の脅威  
について、LGBT とスポーツ

参加団体 23 団体

### (3)ガバナンス研修会 I 会計

開催日時 平成 29 年 11 月 1 日(水) 10:00～17:45  
場 所 公益財団法人日本障がい者スポーツ協会 4 階大会議室  
概 要 決算・会計の概要、法人税・消費税、競技団体特有の会計処理、その他  
(JPC 加盟競技団体のみ対象) JSC 競技力向上事業説明会  
参加団体 39 団体

### (4)ガバナンス研修会 II 運営

開催日時 平成 29 年 11 月 2 日(木) 10:00～17:30  
場 所 公益財団法人日本障がい者スポーツ協会 4 階大会議室  
概 要 ガバナンスとコンプライアンスの重要性について、スポーツ紛争の解決、  
東京 2020 大会に向けたサイバーセキュリティ対策、反社会的勢力の脅威  
について、LGBT とスポーツ  
参加団体 41 団体

## アクションプラン9. 東京2020大会に向けた活動

### 1. 東京 2020 特別強化委員会の本格的稼働

(1)東京 2020 大会の成功の大きな柱の一つである、「日本代表選手団の大活躍、金メダルランキング 7 位」という目標を達成するため、その目標達成に最終責任を持つ JPC 内に、2020 年東京大会に向けた強化戦略策定・実行に特化した司令塔として平成 29 年 1 月に設置した「東京 2020 特別強化委員会」について、来る東京大会での金メダル獲得に向け、本格的な稼働を図った。

第 1 回 平成 29 年 4 月 27 日(木)  
第 2 回 平成 29 年 7 月 28 日(金)  
第 3 回 平成 29 年 10 月 23 日(月)  
第 4 回 平成 30 年 1 月 30 日(火)

### 2. 会場満員に向けた取り組み

東京大会における会場満員を達成するために、国民の障がい者スポーツへの理解、促進のための体験会やフェスティバル事業などの、各種取り組みを行った。

## その他

### 1. スポーツ庁及び日本スポーツ振興センター・日本体育協会・日本オリンピック委員会との連携強化

(1)生涯スポーツ・体力づくり全国会議 2018(スポーツ庁主催:広島県)  
(2)J-STAR プロジェクトへの参加  
(3)全国スポーツ指導者連絡会議(公益財団法人日本体育協会主催)  
(4)TAFISAコンGRES 2019 実行委員会(日本体育協会主催)

(5) スポーツ庁、日本体育協会各種会議への参加・参画

2. 東日本大震災復興支援

東日本大震災復興支援については、主催大会での復興支援の冠標記等を行うなどして支援に努めた。

3. 会議開催等

(1) 平成 29 年度障がい者スポーツ協会協議会、障がい者スポーツ指導者協議会および障がい者スポーツ団体協議会の開催

1) 平成 29 年度障がい者スポーツ協議会・障がい者スポーツ競技団体協議会・障がい者スポーツ指導者合同会議

日時 平成 30 年 2 月 20 日(火) 12:00～15:30

場所 ヒルトン東京お台場

2) 障がい者スポーツ info2018

日時 平成 30 年 2 月 21 日(水) 10:00～12:30

場所 ヒルトン東京お台場

(2) 理事会・評議員会の開催

1) 評議員会

○臨時評議員会(書面決議)

日時 平成 29 年 6 月 16 日(金)

議題 定款の変更

○定時評議員会

日時 平成 29 年 6 月 23 日(金) 13:30～15:30

議題 平成 28 年度決算報告書(案)について  
理事の改選について

○臨時評議員会

日時 平成 29 年 11 月 21 日(火) 13:30～15:00

議題 評議員の選任(案)について  
理事の選任(案)について

2) 理事会

○定例理事会

日時 平成 29 年 6 月 8 日(木) 13:30～15:30

議題 平成 28 年度事業報告(案)について  
平成 28 年度決算報告書(案)について  
定款の改正について  
理事の改選に伴う理事候補者(案)について  
平成 29 年度公益財団法人JKA競輪補助事業の受託(案)について  
臨時評議員会(書面決議)(案)について

○臨時理事会

日時 平成 29 年 6 月 23 日(金) 16:00～17:30

議題 人事案件(会長等の選任)について

最高顧問の委嘱について

日本パラリンピック委員会運営委員の委嘱について

○定例理事会

日時 平成 29 年 9 月 26 日(火) 13:30～15:30

議題 評議員の選任(案)について

理事の選任(案)について

日本パラリンピック委員会運営委員の委嘱について

平成 29 年度臨時評議員会の招集(案)について

○定例理事会

日時 平成 29 年 12 月 20 日(水) 13:30～15:30

議題 報告事項のみ

○定例理事会

日時 平成 30 年 3 月 27 日(火)13:30～15:30

議題 平成 30 年度事業計画(案)について

平成 30 年度収支予算(案)について

平成 30 年度定時評議員会の招集(案)について

(3)アクションプラン推進会議

第 1 回 平成 29 年 7 月 4 日(火)

第 2 回 平成 29 年 8 月 24 日(木)

(4)三専門委員会(技術委員会・医学委員会・科学委員会)の開催

1)技術委員会

第 1 回 平成 29 年 8 月 21 日(月)

2)医学委員会

第 1 回 平成 29 年 7 月 23 日(日)

3)科学委員会

第 1 回 平成 29 年 5 月 20 日(土)

第 2 回 平成 29 年 10 月 20 日(金)

第 3 回 平成 30 年 2 月 5 日(月)

(5)表彰等

会長表彰等(特別功労章、功労章、特別賞、感謝状)

期日 平成 30 年 2 月 20 日(火)

場所 ヒルトン東京お台場

パラリンピック特別賞

期日 平成 30 年 3 月 19 日(月)

場所 ホテルニューオータニ

その他の顕彰

1)文部科学大臣表彰

スポーツ功労者等 平成 29 年 7 月 3 日(月)

スポーツ功労者等(デフリンピック) 平成 29 年 12 月 5 日(火)

障害者の生涯学習支援事業 平成 29 年 12 月 7 日(木)

2)厚生労働大臣表彰

社会参加促進功労者 平成 29 年 12 月 5 日(火)

3)第 23 回デフリンピック夏季大会日本代表選手団特別表彰式

期日 平成 29 年 8 月 30 日(水)

(6)障がい者スポーツ指導者協議会運営委員会、研修部会、情報部会、指導部会の開催

1)運営委員会

第 1 回 平成 29 年 5 月 15 日(月)

第 2 回 平成 29 年 11 月 13 日(月)

第 3 回 平成 30 年 3 月 5 日(月)

2)研修部会

第 1 回 平成 29 年 5 月 22 日(月)

第 2 回 平成 29 年 10 月 15 日(日)

第 3 回 平成 30 年 2 月 25 日(日)

3)情報部会

第 1 回 平成 29 年 6 月 27 日(火)

第 2 回 平成 29 年 11 月 29 日(水)

第 3 回 平成 30 年 2 月 13 日(火)

4)指導部会

第 1 回 平成 29 年 5 月 10 日(水)

第 2 回 平成 29 年 8 月 9 日(水)